

「平和構築と紛争予防」の分野におけるグローバル補助金奨学金の申請について

新卒で、キャリアがない場合は、グローバル補助金での奨学金は非常に困難であり、留学での履修科目(平和構築と紛争予防に焦点を当てた学問)と将来の計画が合致し、さらに将来の展望が具体的である必要があります。

【重点分野の基本方針より抜粋】

グローバル補助金は、平和構築と紛争予防の分野における仕事で活躍していくことに興味がある**専門職業人**のための大学院レベルの奨学金を支援します。ロータリー財団は、グローバル補助金による奨学金の申請書を審査する際、以下の点を考慮します。

1. 平和構築と紛争予防の分野における申請者の**それまでの職歴・活動歴**。これには、非政府組織、政府機関、または国際的組織における仕事または研究が含まれる。
2. 平和構築と紛争予防に沿った**履修課程**。
 - a. 望ましくは、紛争予防と解決、平和・司法研究、平和関連の社会起業、安全保障研究、国際関係を含む履修課程、および、人権法など平和と紛争を専門とするその他の学位。
 - b. 平和と紛争の課題および成果に直接の主眼を置く履修課程は、優先的に考慮される。
 - c. 優先的に**考慮されない履修課程**には、平和構築、紛争転換、または紛争予防と解決に重点が置かれていない**一般的な国際関係に関連**するもの、ならびにその他の一般的な社会的発展に関連する学位が含まれる。
3. 平和と紛争転換、予防、解決に関連した、**申請者の将来のキャリア計画**。

【ガイドラインより抜粋】

グローバル補助金は、平和構築と紛争予防の分野におけるキャリアを志願する専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援します。グローバル補助金による奨学金の申請において、財団は以下の要素を考慮します

- 平和構築と紛争予防の分野における申請者の**それまでの職歴・活動歴**。これには、非政府組織、政府機関、または国際的組織における仕事または研究が含まれる。
- 平和構築と紛争予防に沿った履修課程。
 - 望ましくは、紛争予防と解決、平和・司法研究、平和関連の社会起業、安全保障研究、国際関係を含む履修課程、および、人権法など平和と紛争を専門とするその他の学位。
 - 平和と紛争の課題および成果に**直接の主眼を置く履修課程は、優先的に**考慮されるものに含まれる。
 - 優先的に考慮されない履修課程**には、平和構築、紛争転換、または紛争予防と解決に重点が置かれていない**一般的な国際関係に関連するもの、ならびにその他の一般的な社会的発展**に関連

する学位が含まれる。

○奨学生は、ロータリー平和センタープログラムの一部であるプログラムに入学することはできません。

●申請者の将来のキャリア計画、およびそれが平和、紛争の予防、転換、解決にどのように関連しているか。

平和構築と紛争予防のグローバル補助金奨学金の申請者は、その学業と履修コースが明らかに平和と紛争予防に関連していることを明示する必要があります。関係のない学位を目指している場合、その履修コースが平和構築と紛争予防における経験と目標にどのように直接結びつくのかを説明する必要があります。